

2024年10月23日(水)  
第56回 日専連全国青年会八戸会議

於：八戸プラザホテル  
1階 ブリリアント  
時間：15:30～17:30

— 式次第 —

1. 物故者に対する黙禱
2. 開会宣言
3. 日専連歌 斉唱
4. 日専連信条 朗読
5. 日青連綱領 唱和
6. 日専連の店からのお約束 唱和
7. 主催挨拶  
日専連青年会連合会 会長 加藤 健太
8. 開催地青年会よりご挨拶  
日専連八戸青年会 会長 岩藤 裕樹氏
9. 祝辞  
日本専門店会連盟 理事長 大西 賢治 様
10. 日専連青年会連合会 創立70周年記念  
感謝状贈呈  
受賞者代表謝辞
11. 各委員会より事業報告
  - (1) 事業推進委員会
  - (2) 組織強化委員会
  - (3) 総務委員会
12. 事業報告に関する質疑応答
13. その他連絡事項
14. 閉会宣言

# 日 専 連 歌

作 詞 三村 鴻 太

作 編 曲 長 津 義 司

1. みどりの山河 雲湧きて

あふ  
溢れる光 日本の

商業界に 華と咲く

日専連の 立ち姿

ああ燃え上る この希望

抱きて<sup>とも</sup>協に いぎ進め

2. 親和と愛は 我が命

心で結ぶ 店と店

感謝と奉仕 捧げつつ

日専連は 伸びて行く

ああ共栄の 連盟旗

掲げる理想 いぎ<sup>たた</sup>讃え

3. 商魂<sup>さん</sup>燦と 陽に映えて

世界に<sup>ひら</sup>拓く 新天地

揺るがぬ力 同志愛

日専連を 担いつつ

ああ<sup>たいほう</sup>大鵬の 翼鳴る

世紀の朝を いぎ<sup>うた</sup>謳え

4. 文化の鐘の 鳴るところ

時代の息吹 新しく

あいたずさ<sup>た</sup>  
相携えて 起ち上る

日専連の 意気を見よ

ああ堂々と 声<sup>た</sup>和して

栄ある<sup>みち</sup>商道を いぎ行かん

# 日 専 連 信 条

小売商人は消費者の身近にいて、職能としての深い知識と親しい隣人としての誠実さで、消費者の経済をしっかりと守り、その日常生活をより豊かにて、暮しよい明るい社会をつくることが、与えられた使命である。そのゆえにこの職業が消費者のために在るものであり、社会的に意義のあることを自覚し、我れ小売商人なりの誇りと喜びとに生涯をかけて悔いない。

商店は、この職業の真価が発揮されて、小売商人があることの意義が広く消費者に認められる場である。同時に、「お客さま」と愛称される消費者が、商品とその代価との取引を超えて、小売商人の美しい誠実さと深い思いやりとに心打たれ、友情の交換が行われる「信頼の場」である。

消費者が求めるものは、良品正価の保証と買物の愉しさである小売商人が消費者に信頼されるのは、この保証と、楽しいお買物の中に流れているまごころのゆえである。従って、無駄のない経費とつつましやかな生活とで、消費者の負担を出来得る限り軽くするよう努めることが、正しい報酬と永遠の繁昌をもたらす唯一の道である。

日専連は小売業を国民経済の上に重要な職能であると確信し、小売商人としての人格をみがきたゆまざる精進と親類附合による結合のもとに、経営の近代化をはかり、協同の活動を推進し、奉仕の理想である真商道を実現せんとする組織である。

# 日 青 連 綱 領

- |                                                |                                                |
|------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 1 団結を固めよう<br>われら青年の理想は<br>がまん強い組織と協力から<br>生まれる | 2 情熱を燃やそう<br>われら青年の理想は<br>ほとぼしる熱意と勇気から<br>生まれる |
| 3 研鑽を重ねよう<br>われら青年の理想は<br>冷静な判断と分析から<br>生まれる   | 4 誠実を尽くそう<br>われら青年の理想は<br>あふれる真心と責任から<br>生まれる  |

こうしてかちとった われらの理想は  
おしみなく社会に還元しよう

## 日専連の店からのお約束

- 一．誠実な気持ちで、安全・安心な商品・技術をお届けします
- 一．楽しいお買い物をしていただくための努力を常に心がけます
- 一．お客様のご満足を得られる環境づくりを目指します